

特集 国の緊急支援を活用してDX 医療施設等経営強化 緊急支援事業を活用

Q.月刊こみゅりんくとは？

ココリんく 開発元(株)プレアデスセブンが主催する病院経営改善オンライン講座「こみゅりんく」の内容や、お役立ち情報をまとめた情報誌です。講座の詳細は裏面に記載しています。



厚生労働省のHPより一部抜粋
2025年3月1日時点

厚生労働省は2025年2月12日に通知「令和6年度医療施設等経営強化緊急支援事業の実施について」を
発出し、2024年度補正予算に計上した「医療施設等経営強化緊急支援事業」の詳細を明らかにしまし
た。ここ数週間で情報の更新が進み、3月1日時点では、厚労省の[ホームページ](#)にて



「令和7年度予算に繰越を行う予定」と明記されました。バタバタと準備しなくてよくなり、院内で優先順位をつけて何を交付適用させるか、吟味する時間が出来ました。条件はこれだけ、**2/1時点でベースアップ評価料を届出済、又は同年3/31時点でベースアップ評価料を届出見込み。**のみです。そこで選択肢に入りたいのが「稼働UP・単価UP・業務DX」できる**クラウドシステムの導入**です。「こみゅりんく」を運営するプレアデスセブン社が開発した  は **※こみゅりんくとは？**

1. 生産性向上・職場環境整備等支援事業

- 限られた人員で効率的に業務を行う環境の整備費用
- 業務の生産性を向上させ、職員の処遇改善につなげる
 - ▶ ICT機器等の導入による業務効率化
 - タブレット端末、WEB会議設備等の**業務効率化に資する設備の導入**

※事業の終期は令和8年3月31日まで延長予定

交付額
4万円/病床数

こみゅりんく導入費目安
100床：480万円
150床：650万円
200床：870万円

※ネットワーク構築・電子カルテ等連携費は含まず
※月間保守費は別途必要となります

 は上記に該当するであろうと考えています。各都道府県の受付開始日は公表されていませんが、速やかに申請できるよう、弊社にて「お見積」をご用意しますので、お気軽にお問合せ下さい。

地域連携強化と稼働UPを
目指す経営改善コミュニティ

こみゅりんく

稼働率UP

地域連携強化

働き方改革

講座参加者の声

Aさん | 法人本部 連携推進担当

データ集約による院内&院外との情報共有についてやるべき事が明確になりました。特に入退院経路分析では、相談件数に対してキャンセル件数の把握ができていないことに気づかされました。いろいろなデータがある中で、いかに必要なデータを統合して、検討・理解・共有することが大切なのかを学びました。

Bさん | 副看護部長 入退院支援室

必要な情報収集とデータ分析することで課題が明確になり、解決の糸口が見え、アプローチの方法を学習できました。連携先アンケートなどもあり成果報告会までの時間が短く、通常業務との進行が厳しいと感じましたが、講義内容に関しては回を追うごとに楽しくなりました。ありがとうございました。

Cさん | 連携室 ソーシャルワーカー

連携室の仕事を可視化すること、情報収集しデータ化することの大切さを学びました。業務フロー図を作成していなかったのが、雛形を頂き作成するきっかけとなりました。当院ではベッドコントロール担当看護師と一緒に参加できたのが良かったです。講座は、連携室職員だけでなく、経営層と一緒に参加したほうが良いと感じました。



2025年4月8日から始まる第6期は

火曜日開催です

日程 第6期 2025年4月8日(火)~

回数 全5回

方法 オンライン 

費用 無料

資料と申込は [こちら](#)



人口減少、病床機能の変革…

地域のニーズ&自院の強み

を明確にして

地域連携強化と稼働UPを目指し
データに基づく戦術を学びます。

経営改善の実践的ノウハウを学ぶ“こみゅりんく”で次の一手を！